

第4回「JPAP オレンジサークルアワード2011」



特別賞受賞報告書

実地日：平成 23 年 7 月 28 日（木）

時間：18:00～21:30

場所：札幌プリンスホテル 国際館パミール

主催：JPAP(ジェイパップ) 2003 年 11 月に医療従事者が設立した非営利の任意団体

参加数：64 人（エントリーチームとしては全国から 22 チームの医療機関）

正しい痛み治療の普及と理解の浸透を目指し、医療従事者が設立した非営利の任意団体 JPAP®（ジェイパップ）（Japan Partners Against Pain® 代表世話人：JR 東京総合病院 院長 花岡 一雄）において琉球大学がんセンター緩和ケアチームが第4回「JPAP®オレンジサークルアワード 2011」特別賞を受賞した。

「オレンジサークル」とは、“がんの痛みを取り除くことで、患者さんが、がんそのものと取り組む気力や体力を得る” という考え方を実践する医療チームの活動をサポートする JPAP® の取り組みで、医療チームからの登録申し込みに基づき JPAP® が認定している。その活動の一環として、緩和ケア活動の院内・院外での認知度をさらに高め、よりよい治療の普及と発展に寄与するべく、昨年に引き続き第4 回「JPAP®オレンジサークルアワード 2011」が実地された。

以下、JPAPより【報道関係者各位】向けに発行された記事：

【特別賞】

特別賞は琉球大学医学部附属病院 緩和ケアチームに贈られました。同病院では1999 年に緩和ケアチームが発足、2009 年には緩和ケア外来を開始しました。沖縄県は5つの二次医療圏のう

ち、過疎地域の北部、宮古、八重山医療圏に地域拠点病院がないため、医療者だけでなく患者さんや市民にも、早急に離島での緩和ケアの普及・啓発・向上を図る必要がありました。そこで「院内から離島へ」というスローガンのもとに、宮古、八重山医療圏内で医療者向けの研修会や一般向けの講演会をひろく実施しています。これらの活動が高く評価され、今回の受賞につながりました。

【受賞者コメント】

—琉球大学医学部附属病院 緩和ケアチーム—「沖縄県は離島が多く、地域的にがんの告知を含めて、まだまだ緩和ケアの普及が十分でないところが多いのが現実です。そんな中で、約10年近くにわたり緩和ケアを続けてきました。今回、特別賞をいただき、これまで続けてきたことが、やっと一つの成果になったと思います」

開催会場の風景(右)

受賞撮影会にて(下)

